



萌木

3月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和4年3月16日発行

3月というときに

校長 山田 勝

今は3月も半ば、3学期もいよいよ終わり1年間の学校生活が終わろうとしています。そして、3年生は卒業に向け、中学校での学び、そして小学校中学校の義務教育の終わりをどのようにまとめるか、そのような時期にもなっています。

季節も冬から春へ移っていく、そのような時期になっていて、冬の寒さに抑えられていた気持ちを、春の温かな陽の光にすい寄せられるように、春、4月の訪れを待ち焦がれている、そんな3月になってしまっていることもあります。

本当は、学校歴の中で3月はどの学年であっても1年間の総括をしっかりとまとめの時期であるのですが、4月に向け、少し駆け足に過ごしてしまっているかもしれません。1年間を振り返り、自分の中で足りなかつたところを見つめ、補うべき点を確認し、意識を改めようしたり、復習をする、そのような活動が3月にはもっとあってよいはずです。

気持ちの中で、「春、4月」を待つあまり、「春、4月」になると全てが自分にとって良いように解決する、あるいはリセットされると都合よく考えてしまうことも、あるかもしれません。

桜も春に開花するのは、1年間葉を茂らせ枝を伸ばし、そして葉を散らして、開花にむけた準備をしっかりできているからなのだと思います。

私たちも、「春、4月」によるスタートを切るために、この3月に1年間を振り返り、「春、4月」に桜に負けないようしっかり頑張れる準備をしておきませんか。

今年度を振り返って

この1年間、保護者の皆様におかれましては第七中学校の教育活動につきましてご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

新型コロナウイルス感染対策、特に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたり、本校での感染状況等により様々な対応をお願いしてまいりました。

夏休みの延長や、オンライン学習の取り組み、部活動などの放課後の活動制限、特に学校行事の中止や延期・変更など、その都度の対応にもご理解いただき感謝申し上げます。

学校行事では、オンライン配信を行った体育祭、生徒と動線を明確に分け参観していただいた合唱コンクールができましたが、行事などを通して成長の様子をご覧いただく機会を作れず申し訳ありませんでした。また、3年生には延期して実施予定だった修学旅行が直前で中止となり、2回も残念な思いをさせてしまいました。そのような中で生徒たちはそれぞれの考え方を尊重し、相手の状況を慮る姿勢を持ってくれました。このような状況の中でも確実に一人一人の生徒は成長を続けてくれています。

今後とも、保護者の皆様と、共に生徒と向き合い、生徒が各自の夢や目標を達成することを見守り助けていきますよう、お願ひいたします。